

令和9年度長崎県公立学校
教員採用選考第1次試験問題

教科・科目

中学 保健体育

受験番号

氏名

実施日 令和8年5月10日（日）

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験

<h2 style="margin: 0;">中学保体</h2>

※ 解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。

※ ①～③は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編（平成29年7月）」に示されている内容に関する問いである。

1

「第2章 保健体育科の目標及び内容」に示されている「教科の目標」について、以下の各問いに答えよ。

問1 次の文は、「第1節 教科の目標及び内容」に示されている教科の目標である。文中の(①)～(⑤)に入る適切な語句を正確に答えよ。ただし、同一番号には同一語句が入る。

<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を(①)し豊かな(②)を実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び(③)における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、【A】合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって運動に(④)とともに健康の(①)と【B】体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む(⑤)を養う。

問2 次の文は、問1の下線部【A】について解説したものである。文中の(①)、(②)に入る適切な語句を下の語群の中から1つずつ選び、記号で答えよ。

<p>運動の行いや練習の仕方、活動の仕方、健康・安全の確保の仕方、運動の継続の仕方など、これまで学習した運動に関わる(①)や運動に伴う事故の防止等の(②)な知識や技能を、自己や仲間の課題に応じて学習場面に適用したり、応用したりすることを示している。また、発見した健康に関する課題について、習得した知識及び技能を活用し、解決方法を考えると同時に、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなど、よりよい解決に向けて判断することを示している。</p>

<語群>

ア. 汎用的	イ. 一般原則	ウ. 合理的	エ. 特性	オ. 科学的
--------	---------	--------	-------	--------

問3 次の文は、問1の下線部【B】について解説したものである。文中の(①)～(③)に入る適切な語句を下の語群の中から1つずつ選び、記号で答えよ。

運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の(①)を図ることである。体力は、人間の(②)の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっており、「(③)」の重要な要素である。

<語群>

ア. 生きる力	イ. 活動	ウ. 健全な発達	エ. 学びに向かう力
オ. 生活	カ. 調和的発達		

2

「第2章 保健体育科の目標及び内容」に示されている〔体育分野〕について、以下の各問いに答えよ。

問1 次の文は、「第2節 各分野の目標及び内容」に示されている〔体育分野〕における「1 目標」〔第1学年及び第2学年〕（一部抜粋）である。文中の（ ① ）、（ ② ）に入る適切な語句を答えよ。

公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとは、第1学年及び第2学年の段階において、運動における（ ① ）や協働の経験を通して、生徒に身に付けさせたい（ ② ）の目標を示したものである。

問2 次の文は、「A 体づくり運動」の〔第1学年及び第2学年〕における「(1) 知識及び運動」の「運動」に示されている指導内容（一部抜粋）である。文中の（ ）に入る適切な語句を答えよ。

動きを持続する能力を高めるための運動とは、一つの運動又は複数の運動を組み合わせ、一定の時間に連続して行ったり、あるいは、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行われる運動である。
指導に際しては、心拍数や疲労感などを手掛かりにして、無理のない運動の（ ）と時間を選んで行うようにすることが大切である。

問3 次の文は、「B 器械運動」の〔第1学年及び第2学年〕における「(1) 知識及び技能」に示されている指導内容（一部抜粋）である。文中の（ ）に入る適切な語句を正確に答えよ。

イ 鉄棒運動では、支持系や（ ）の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。

問4 次の文は、「C 陸上競技」の〔第3学年〕における「(1) 知識及び技能」に示されている指導内容（一部抜粋）である。文中の（ ）に入る適切な語句を正確に答えよ。

ア 短距離走・リレーでは、（ ）へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。

問5 次の文は、「D 水泳」の〔第3学年〕における「(3) 学びに向かう力、人間性等」に示されている指導内容（一部抜粋）である。文中の（ ）に入る適切な語句を答えよ。

水泳の事故防止に関する心得とは、自己の体力や技能の程度に応じて泳ぐ、無理な潜水は（ ）の危険があるため行わない、溺れている人を見つけたときの対処としての救助の仕方と留意点を確認するなどといった健康・安全の心得を示している。

問6 次の文は、「E 球技」の〔第1学年及び第2学年〕における「(3) 学びに向かう力, 人間性等」に示されている指導内容である。文中の()に入る適切な語句を正確に答えよ。

(3) 球技に積極的に取り組むとともに、()を守ろうとすること, 作戦などについての話し合いに参加しようとする, 一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする, 仲間の学習を援助しようとするなどや, 健康・安全に気を配ること。

問7 次の文は、「F 武道」の〔第3学年〕における「(1) 知識及び技能」に示されている指導内容(一部抜粋)である。文中の()に入る適切な語句を正確に答えよ。

ア 柔道では, 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技, ()を用いて, 相手を崩して投げたり, 抑えたりするなどの攻防をすること。

問8 次の文は、「G ダンス」の〔第1学年及び第2学年〕における「(1) 知識及び技能」に示されている指導内容(一部抜粋)である。文中の()に入る適切な語句を正確に答えよ。

ア 創作ダンスでは, 多様なテーマから表したいイメージを捉え, 動きに変化を付けて即興的に表現したり, 変化のある()にしたりして踊ること。

問9 次の文は、「H 体育理論」の〔第1学年及び第2学年〕における「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」の「ア 知識」に示されている指導内容(一部抜粋)である。文中の()に入る適切な語句を答えよ。

体力や技能の程度, 年齢や性別, 障害の有無等の様々な違いを超えて, 運動やスポーツを行う際に, ルールやマナーに関して()することや適切な人間関係を築くことなどの社会性が求められることから, 例えば, 違いに配慮したルールを受け入れたり, 仲間と教え合ったり, 相手のよいプレイに称賛を送ったりすることなどを通して社会性が高まることを理解できるようにする。

3

「第2章 保健体育科の目標及び内容」に示されている〔保健分野〕について、以下の各問いに答えよ。

問1 次の文は、「第2節 各分野の目標及び内容」に示されている〔保健分野〕における「1 目標」（一部抜粋）である。文中の（①）～（③）に入る適切な語句を答えよ。ただし、同一番号には同一語句が入る。

健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うとは、保健の思考力、判断力、表現力等に関する（①）の育成についての目標である。健康に関わる事象や健康情報などから自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができるようにすることを目指したものである。これらは、現在及び将来の（②）における健康に関する課題に直面した場合などに、的確な思考・判断・表現等を行うことができるよう、健康を適切に（③）し改善していく思考力、判断力、表現力等の（①）を育成することにつながるものである。

問2 次の文は、「(2) 心身の機能の発達と心の健康」に示されている指導内容（一部抜粋）である。文中の（①）、（②）に入る適切な語句を正確に答えよ。ただし、同一番号には同一語句が入る。

(ア) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。
 (イ) （①）と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。（②）やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、（②）やストレスに適切に対処する必要があること。

問3 次の文は、問2の下線部について解説したものである。文中の（ ）に入る適切な語句を答えよ。

身体の発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、呼吸器系、（ ）などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることを理解できるようにする。

問4 次の文は、「(3) 傷害の防止」に示されている指導内容（一部抜粋）である。文中の（ ）に入る適切な語句を正確に答えよ。

(イ) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の（ ）を防止することができること。

問5 次の文は、問4の下線部について解説したものである。文中の（①）～（③）に入る適切な語句を答えよ。

① 応急手当の実際
 （①）、AED（自動体外式除細動器）使用などの心肺蘇生法、包帯法や止血法としての（②）などを取り上げ、（③）を通して応急手当ができるようにする。

4 「保健」について、以下の各問いに答えよ。

問1 次の①～⑤の文は、何について説明したものか、それぞれ名称を答えよ。

- ① 生活習慣病の一つで、たばこの煙などを長い間吸い込むことにより、肺の中で炎症が起き、咳や痰などの症状が出て、呼吸がしにくくなる病気のこと。(アルファベット4文字で答えよ。)
- ② 2000年にスタートした「健康日本21」を支える法律として、国民の健康づくりや疾病予防をさらに積極的に推進することを目的に、2002年に制定された法律のこと。
- ③ 心臓が停止して間もない人に見られる、しゃくり上げるような途切れ途切れの呼吸のこと。
- ④ おもに生活排水が湖や海を汚染して起こる環境問題のこと。
- ⑤ 自然災害が発生した場合の被害を予測して、被災想定地域や被害の範囲、避難場所や避難経路などを地図上に表示したもののこと。

問2 次の文は、受精と妊娠について説明したものである。文中の(①)、(②)に入る適切な語句を下の語群の中から1つずつ選び、記号で答えよ。

自然妊娠の場合には、(①)の中で受精した卵子(受精卵)は、細胞分裂を繰り返しながら約1週間で子宮に到達し、(②)へ付着して胎盤をつくり始め(着床)、ここから妊娠がスタートする。

<語群>

ア. 子宮口	イ. 子宮内膜	ウ. 膣
エ. 卵管	オ. 卵管采	カ. 卵巣

問3 次のア～オの説明について、誤っているものを2つ選び、記号で答えよ。

- ア. 飛沫感染とは、飛沫の水分が蒸発して飛沫核になり、空気中に広くただよったものを吸い込むことによって感染・発病することである。
- イ. 現在、先進国では、治療法の進歩によってHIVに感染しても早期に治療を受けることで、長期間にわたり通常と変わらない日常生活を送ることができ、HIVに感染していない人とほぼ同程度の寿命が見込める。
- ウ. リン菌感染症の主な症状として、性器やその周辺に痛みをともなう水ぶくれができる。症状が出ないことも多く、再発しやすい。
- エ. 抵抗力を体の中で発揮するしくみの1つが免疫であり、免疫のしくみを利用して、特定の病原体への抵抗力をつくりだす方法が予防接種である。
- オ. 結核は、かつては日本人の死亡原因の第1位を占めるほどであったが、現在では、医薬品による適切な治療、予防接種、生活水準の向上による栄養状態や衛生状態の改善によって減少した。

5

スポーツに関することについて、以下の各問いに答えよ。

問1 次の①～④の文は、何について説明したものか、それぞれ名称を答えよ。

- ① 体力の構成要素を大別すると行動力と生存力に分けられるが、行動力のうち、エネルギー量を自分の体格（身長や体重）に応じて、また、運動の目的に応じて適切に調節する能力のこと。
- ② 繰り返し同じ動きをすることによって体の特定の部位に負荷がかかり、スムーズに動かすことができなくなったり、動かすと痛みを伴うようになったけがのこと。
- ③ 持久力トレーニングのうち、全力の運動を十分な休息をとって数本繰り返すトレーニングのこと。
- ④ 安静状態を基準として、その何倍のエネルギー量を消費するかで決定される、身体活動の強度を表す単位のこと。（カタカナで答えよ。）

問2 次の文は、日本のスポーツ施策の進展について説明したものである。文中の(①)、(②)に入る適切な語句を下の語群の中から1つずつ選び、記号で答えよ。

2012年には、(①)が策定され、スポーツの果たす役割とスポーツを通じて目指す社会の姿が示された。この計画の柱は、(②)と国際競技力の向上、トップスポーツと地域におけるスポーツの連携・協働の推進などである。

<語群>

ア. インテグリティの確保	イ. スポーツ基本計画	ウ. 子どもの体力の向上
エ. スポーツ基本法	オ. 生涯スポーツ社会の実現	カ. スポーツ振興基本計画

問3 次のア～オの説明について、正しいものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 柔道では、主審が手のひらを下にして片手を伸ばす動作を行った場合、「技あり」を表す。
- イ. 水泳のクロールの推進力は、約80%がキック、約20%がストロークによって生まれている。
- ウ. バスケットボールでは、攻撃中に、相手コートの制限区域内には5秒を超えてとどまることはできない。
- エ. バドミントンでは、ダブルスゲームの場合、サービスレシーバーがサービスを相手コートに打ち返した後は、各組同士必ず交互に打つ。交互に打たなかったときは、相手側の得点となる。
- オ. バレーボールでは、相手のブロッカーの手にボールをわざと当てて、コートの外にたたき出すとする攻撃技術のことを、ブロックカバーという。

中学 保体	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

1 15点(問1:各2点、問2・問3:各1点)

問1	①	保持増進				②	スポーツライフ				
	③	個人生活		④	親しむ		⑤	態度			
問2	①	イ	②	オ	問3	①	カ	②	イ	③	ア

2 10点(各1点)

問1	①	競争			②	情意面		
問2	強度				問3	懸垂系		
問4	中間走				問5	意識障害		
問6	フェアなプレイ				問7	連絡技		
問8	ひとまとまりの表現				問9	合意形成		

3 10点(各1点)

問1	①	資質・能力			②	生活		
	③	管理						
問2	①	精神			②	欲求		
問3	循環器系				問4	悪化		
問5	①	胸骨圧迫			②	直接圧迫法		
	③	実習						

中学 保体	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和9年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

4 8点(問1・問2:各1点、問3:1点(完答))

問1	①	COPD			②	健康増進法	
	③	死戦期呼吸			④	水質汚濁	
	⑤	ハザードマップ					
問2	①	エ	②	イ	問3	ア	ウ

5 7点(各1点)

問1	①	サイバネティックス的体力					
	②	スポーツ障害					
	③	レペティショントレーニング					
	④	メッツ					
問2	①	イ	②	オ	問3	ア	